



2022年4月12日

各 位

会 社 名 株式会社 大 和
代表者名 取締役社長 宮 二 朗
(コード番号：8247 東証スタンダード市場)
問合せ先 経営戦略本部
財務部長 長 嶋 和 生
(TEL076-220-1100)

資本金の額の減少及びその他資本剰余金の処分に関するお知らせ

当社は、本日開催の取締役会において、2022年5月26日開催予定の第106期定時株主総会に資本金の額の減少及び、その効力が発生することを条件としてその他資本剰余金の処分をすることについて付議することを決議いたしましたので、以下の通りお知らせいたします。

なお、本件は「純資産の部」における勘定科目内の振替処理であり、現金及び預金の減少を伴うものではなく、また当社の純資産額や発行済株式総数に変動は生じませんので、株主の皆様のお手持の株式に影響を与えるものではありません。

記

1. 本件の目的

現在生じている利益剰余金の欠損額を解消し、早期に財務体質の健全化を図るとともに、今後の機動的かつ柔軟な資本政策を実現するため、会社法第447条第1項の規定に基づき、資本金の額を減少し、これをその他資本剰余金に振り替えるとともに、会社法452条の規定に基づき、増加後のその他資本剰余金の一部を処分し、繰越利益剰余金に振り替えるものです。

2. 資本金の額の減少の内容

(1) 減少する資本金の額

2022年2月28日現在の資本金の額3,462,700,000円のうち3,362,700,000円を減少し、資本金の額を100,000,000円といたします。減少する資本金は、その全額をその他資本剰余金に振り替えます。

(2) 資本金の額の減少の方法

発行済株式総数を変更せず、当社貸借対照表における資本の勘定の振り替えのみを行います。

3. 剰余金の処分の内容

上記「2. 資本金の額の減少の内容」に記載の資本金の額の減少によって増加するその他資本剰余金の額のうち2,919,243,771円を繰越利益剰余金に振り替え、繰越欠損の填補を行うものです。これによりその他資本剰余金は443,456,229円、繰越利益剰余金は0円となります。

上記2から3までの効力が発生した場合、以下の通りとなる予定です。(単位：円)

| | 2022年2月末 | 増 減 | 効力発生後(見込) |
|----------|----------------|---------------------------------|---------------|
| 資本金 | 3,462,700,000 | △3,362,700,000 | 100,000,000 |
| 資本剰余金 | 1,151,981,918 | 443,456,229 | 1,595,438,147 |
| 資本準備金 | 1,151,981,918 | 0 | 1,151,981,918 |
| その他資本剰余金 | 0 | 3,362,700,000 △2,919,243,771 | 443,456,229 |
| 利益剰余金 | △2,919,243,771 | 2,919,243,771 | 0 |
| 繰越利益剰余金 | △2,919,243,771 | 2,919,243,771 | 0 |
| 自己株式 | △594,993,703 | 0 | △594,993,703 |
| 株主資本合計 | 1,100,444,444 | 0 | 1,100,444,444 |
| 評価・換算差額等 | 298,349,342 | 0 | 298,349,342 |
| 純資産合計 | 1,398,793,786 | 0 | 1,398,793,786 |

※上記表では、本件以外の2022年度の期中の変動要因は含まれておりません。

4. 日程

- (1) 取締役会決議日 2022年4月12日
- (2) 定時株主総会決議日 2022年5月26日(予定)
- (3) 債権者異議申述公告日 2022年5月31日(予定)
- (4) 債権者異議申述最終期日 2022年6月30日(予定)
- (5) 効力発生日 2022年7月1日(予定)

5. 今後の見通し

本件が当社の業績に与える影響はありません。

以 上